

道路のヒートアイランド対策について（舗装の取組み）

ヒートアイランド対策の概要

◎概要

ヒートアイランド対策として、センター・コア・エリアを中心とした重点エリアにおいて、路面温度の上昇を抑制する遮熱性舗装などを路面補修工事に併せて実施している。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた暑さ対策の一つとして、競技コース等を含む都道において当舗装を累計約157km整備している（令和2年度末現在）。

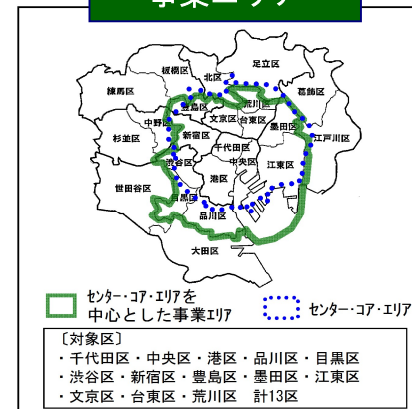
	遮熱性舗装	保水性舗装
性能	<ul style="list-style-type: none"> 路面に塗布した遮熱材が赤外線を反射することで、舗装への蓄熱を防ぎ、路面温度の上昇を最大で8℃程度抑制。 低騒音舗装の騒音低減機能を確保。 	<ul style="list-style-type: none"> 保水材にしみ込んだ雨水等が蒸発する時の気化熱によって、路面温度の上昇を最大で10℃程度抑制。 温度抑制低減効果の発揮には、降雨などによる保水が必要。 
都道での適用範囲	センター・コア・エリアを中心とした重点エリアのうち 夜間環境基準超過区間 に適用。 騒音対策が必要な箇所	センター・コア・エリアを中心とした重点エリアのうち 夜間環境基準超過区間外 の区間に適用。 騒音対策が必要ではない箇所
経過	平成19年度：都道で試験施工を実施 平成20年度：本格実施開始	平成13年度：都道で試験施工を実施 平成17年度：本格実施開始
施工実績 R2年度末	約 136 km	約 21 km

事業エリア・赤外線画像など

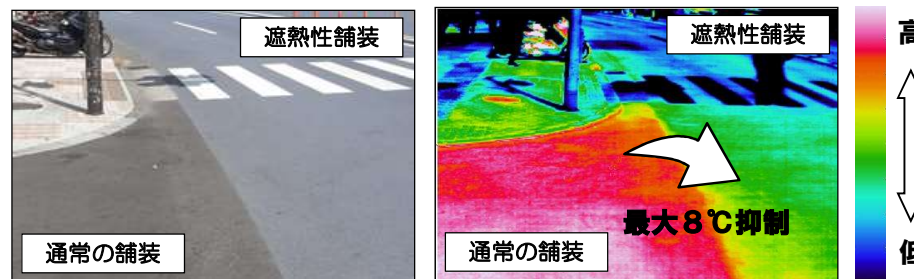
整備状況



事業エリア



赤外線熱画像



遮熱材塗布状況



空隙を有する低騒音舗装の表面に遮熱材を塗布することで、騒音低減効果も確保